

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 26 年 12 月 19 日改正
(平成 27 年 1 月 1 日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：地域密着型特別養護老人ホーム メゾンペイネ		種別：特別養護老人ホーム	
代表者氏名：長 縄 伸 幸		定員（利用人数）： 29 名	
所在地：各務原市鵜沼各務原町9丁目195番地			
TEL：058-370-5225		ホームページ： http://phoenix-g.jp/service/institution-service/intensive_care	
【施設・事業所の概要】			
開設年月日 2007年10月			
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 フェニックス			
職員数	常勤職員： 24 名	非常勤職員	12 名
専門職員	（専門職の名称）	名	
	施設長	1 名	医師 1 名
	管理者	1 名	
	介護支援専門員	1 名	
	機能訓練指導員	1 名	機能訓練指導員 2 名
	生活相談員	1 名	
	看護師	1 名	看護師 2 名
	介護職員	14 名	介護職員 7 名
	管理栄養士	1 名	
	ユニットリーダー	3 名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）	
	9室（1号館）各10室（2, 3号館）	浴室2（一般浴槽2 特殊浴槽1） 医務室	

③理念・基本方針（※転載）

私たちの理念 Mission

Yes, we can !

何でも言ってください。私たちも一緒にがんばります。(1999, 2, 1)

私たちは、あなたの思いや夢を共創し社会との融和を実現させる

熱意と知恵と技術を持った、保健・医療・福祉の専門集団です。(2009, 2, 1)

私たちの価値観 Our value

Heart warming 「回復・再生」リハビリ

私たちはファミリー（家族）のように、関係する人々の心を温めながら個人の回復・再生（リハビリ）を支援するとともに、家族の再生、地域の再生へとつなげていきます。

Being thankful 私たちの感謝

私たちは感謝の気持ちを積極的に発信し、相手の方の役に立っていることの喜びを実感していただきます。私たちスタッフは、その感謝のやりとりを実感することで仕事の新しい“ちから”につなげていきます。

Goal with you 人生の現役復帰・自立

私たちは伴走者のように、ご利用者の本当にしたいこと（目標）に向かって共に歩みます。学ぶ姿勢、教えていただく姿勢を基本に、常に学習することで、私たち自身の「成長」につなげます。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・法人独自の戦略的な事業経営計画書「phoenix way2017」の手帳版を作成し、全職員に配布して職員間で共有している。その中で、法人独自の credo「信条、主義」を作成し、職員の日頃の行動や仕事の指針としている。
- ・介護 ICT化に向けた取り組みを行っており、ケアサービスの周辺業務のシステム化や効率化に努めている。
- ・岐阜県子育て支援エクセレント企業として認定され、幼老一体ケアの新しいかたちの観点から事業所内託児所の運営や法人内の高齢者と子どもたちとの交流を深める事業を実施している。
- ・福利厚生の一環として、「永年勤続表彰」「誕生日アニバーサリーギフトカード」「キャリアアップ休暇制度」等、法人独自の制度が充実している。
- ・多様化する利用者ニーズや施設経営を取り巻く環境変化に対応するため、ダイバーシティ型人材育成を活用し、環境適応型の柔軟な組織づくりを目指している。
- ・医療を必要とする時期から、リハビリを中心とした回復期、活動を取り入れた生活期、そして終末期へとトータルで関わる諸施設を保有し、職員とその家族、地域によって力動的な関係を持ち、地域包括ケアを目指している。
- ・職員に外国人を採用していることから、各用紙に英語やローマ字等を記載する等、わかりやすく、間違いがないように配慮している。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年8月1日（契約日）～ 平成30年3月9日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	0回（平成年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

＜サービスの質の向上を図るとともに経営体質の強化に努めている。＞

ISO9001品質マネジメントシステム認証を取得し、サービスの質の向上を図るとともに経営体質の強化に努めている。また、コンプライアンスを意識し、組織の内部統制の強化を図り、ガバナンスを利かせた組織づくりに努めている。

＜キャリアパスを作成し、職員の人材育成に取り組んでいる。＞

専門性を高めるキャリア支援として、将来の職員のモデルコースを明示した、新しいキャリアパスを作成し、キャリアの各段階での必要なスキルを明確化し、人材育成に取り組んでいる。また、OJTの積極的な活用を通じて、現場での実践スキルや対応力の向上に努めている。

＜各種様式の活用により効果的な支援が実施されている。＞

バックグラウンドアセスメントシート、トリガーシート、24時間シートの活用により、利用者の快・不快の状況、今まで大切にしてきた習慣や馴染みのもの等を把握し、人間関係が継続されることで安心して日常生活を送ることができるよう配慮している。またユニットケアを実施し、寄り添った細かな支援が提供できるよう工夫している。

＜施設環境に工夫がみられる。＞

建物が施設的ではなく、生活の場としての設備が充実しており、季節感を感じさせる設えがなされている。法人の各施設、設備が有機的に組み合わせられ、建物前の歩道、花壇、畑は各施設の利用者がそれぞれ利用することができ、また当施設の庭からは、事業所内託児所の子どもたちの遊具が配置されており、子どもたちの遊んでいる様子を見ることができる。

◇改善を求められる点

＜地域ニーズに基づいた公益的事業のさらなる拡充に向けた取り組みを期待したい。＞

地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。地域の介護の拠点施設として、地域との交流を図りつつ、地域の公益的な事業・活動の可能性について常に意識して施設経営を行っている。これから、社会福祉法人改革の流れの中で、法人の使命として、公益的な事業活動がより求められてくる。今後、地域ニーズの潜在的なニーズを捉え、この分野でのさらなる事業拡充に向けた取り組みに期待したい。

＜看取り職員の精神的フォロー体制の充実に向けた取り組みに期待したい。＞

看取りケアについて負担感を感じている職員が多いとのことであるので、今後とも、看取りケア実践の積み重ねを通じて経験値を高め、また、勉強会で職員間での話し合いを通じて看取りケアに対する負担軽減に努めるとともに、スーパーバイザー役の職員からスーパーバイズを受ける等、職員の精神的ケアの充実に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

法人をあげて取り組んでいる福祉サービスの質向上や人財育成、組織運営の工夫、快適な環境づくりを高く評価いただき大いに勇気づけられた。これを励みに、これからも職員ひとりひとりの成長を様々な側面から支えられる組織でありたい。社会福祉法人の公益的役割がますます期待される中、さらに高い水準で地域の潜在的な福祉ニーズに応え続けられる福祉施設、社会福祉法人を目指してこれからも研鑽を積んでいきたい。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。